

# 現代の青年期を考える

期 日：2017年10月7日（土）・8日（日）

受講対象：小児科医師、精神科医師、臨床心理士、助産師、保健師、保育士、教師、社会福祉関係者など各機関・現場で子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員：80名（定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください）

受講料：12,000円（税込み） ※昼食は各自おとりください

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします  
東京都豊島区高田3-19-10 ☎03-3986-7021

JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団

青年期の病態ほど時代精神を反映するものはないと云われる。企画者の50年余りの臨床経験からしても、それを実感している。1960年代に新しく登場した登校拒否、思春期やせ症も、時の経過とともに、1980年代にはひきこもり、思春期境界例が話題になった。その後、貧困（シングル家庭など）、人工知能が弾きだすポピュリズムなどの背景要因が作り出す無気力な青年といった社会学的視点からの言及に終わり、臨床家（精神医学、臨床心理学、教育、司法その他）の青年期病態への関心は薄くなったかの感があるが、問題は決してそう簡単ではないように思う。本講座では、各領域からの発言をいただいて、現在の青年像を描くことにしたいと思う。

【ほづみクリニック院長 牛島 定信】

## <プログラム>

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
10月7日(土)	14:00～15:30	今日の青年期の人格発達	ほづみクリニック 院長 牛島 定信
	15:45～17:15	不登校、ひきこもりをめぐって	お茶の水女子大学生生活科学部人間生活学 准教授 青木 紀久代
10月8日(日)	9:00～10:30	若者の自傷・依存行動	国立精神・神経医療研究センター精神保健 研究所自殺予防対策センター副センター長 松本 俊彦
	10:45～12:15	最近の若者の性的行動	一般社団法人家族計画協会 専務理事 北村 邦夫
	12:15～13:15	(昼 食) 各自おとりください	
	13:15～14:45	社会文化的視点からみた青年期	筑波大学医学医療系社会精神保健学 教授 斎藤 環
	15:00～16:30	青少年の暴力 —非行ケースから—	東京医科大学茨城医療センター精神科 科長・准教授 梶屋 二郎

※時間割・テーマ等については、多少異なる場合があることをお含みおきください。